

じんけん探訪102

高齢者の人権

内閣府の調査(2022年)

高齢者に関し、体験したことや身の回りで見聞きしたことで、人権問題だと思っただけのことや、人権問題だか、という質問があります。前回調査では「病院での看護や介護施設において、劣悪な処遇や虐待を受けること」(39%)が1位でしたが、今回の調査は「悪徳商法、特殊詐欺の被害が多いこと」が45%と最も高くなっています。以下、「高齢者が邪魔者扱いされること」(31%)、「働く機会が少ないこと」(28%)、「経済的に自立が困難なこと」(28%)などの順となっています。

新しい高齢者観

社会を支える労働力という観点で高齢者を見た時、2020年の国勢調査を基にした県内の就業状況などの基本集計結果では、65歳以上の就業者数は76,978人で、2015年との比較で10,604人(前回比16%増)働く高齢者が増えています。高齢者は、経験豊かで貴重な体験や知識、技術、人脈などを持った人材です。若者と高齢者が協働する「ペア就労」も増えてきていると聞きます。企業においても高齢者の出番があり、関わりやつながりを大切にしていきたいことが、高齢者の人権を考える上で欠かせないことではないでしょうか。

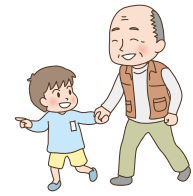
高齢者疑似体験のすすめ

公益財団法人かがわ健康福祉機構は、次のような高齢者疑似体験を実施しています。

- ▽ヘッドホン型耳栓による、老人性難聴の体験
- ▽特殊な眼鏡による、老人性白内障や視野の狭さ、ぼやけて見える状態の体験
- ▽おもりのついたベストによる、腰の曲がりや前かがみ姿勢状態の体験
- ▽靴型サポーターによる、つま先が上がりにくい「すり足」状態の体験
- ▽手袋を着用して、握力の低下と物がつかみにくい状態の体験 など

体験者からは、「ヘッドホンを着けて、高齢者が会話を聞き取りにくい状態を実感した。これからは大きな声で、耳元でゆっくりと話すようにしたい」「ゴーグルや手袋を着けて財布のお金を出し入れすると、簡単にはできない。スーパールのレジで、高齢者が支払いに時間がかかる理由が分かった」などの声が聞かれます。高齢者と接する時は、これらをよく理解することが必要です。

▼問い合わせ 人権課 ☎73・3008



健康ひとくちメモ

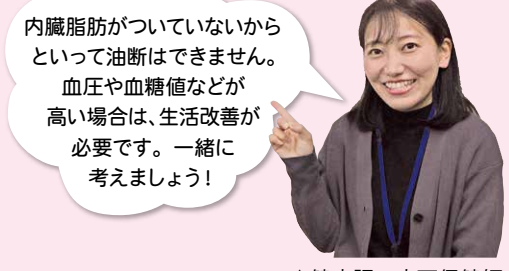
冬は内臓脂肪の増加に注意!!

寒い冬は体を動かす機会が減り、ついつい「食」の誘惑が多くなることから、内臓脂肪が増加しやすい時期です。内臓脂肪から出る悪玉ホルモンは、さまざまな生活習慣病を発症する危険性を高めます。お腹まわりが気になったら、生活習慣改善を始めるタイミングです。



内臓脂肪は、皮下脂肪と比べると増えやすい反面、食事の改善や運動で減らしやすい特徴があります。自分の健康状態を正しく把握し、生活習慣病につながる食事や運動などの習慣を改善することが大切です。日頃の生活習慣を振り返り、できることから改善しましょう。

特定健診結果に基づき、生活習慣病のリスクが高い人には、各保険者から健康指導のお知らせがあります。国民健康保険の被保険者へは、健康課から特定保健指導の案内をしています。案内通知がお手元に届いた人は、ぜひ健康課までお申し込みください。



内臓脂肪がついていないからといって油断はできません。血圧や血糖値などが高い場合は、生活改善が必要です。一緒に考えましょう!

▶申し込み・問い合わせ 健康課 ☎73-3014

▲健康課 大西保健師

めざせ男女共同参画社会

No.98

市男女共同参画推進ネットワーク会議

この会議は、登録団体が相互に交流し、情報の共有や交換、発信を行う場です。さらに、その活動を通して、社会のさまざまな分野への住民の積極的な参画を促し、市の男女共同参画社会の実現をめざして活動しています。

今年も、ネットワーク会議の代表的行事である「議員との意見交換会(11回目)」と「行政との意見交換会(13回目)」を開催しました。今年、「男女共同参画から考えるまちづくり」をテーマとして、ネットワーク会議側から4人が発表を行い、市議会や行政の代表者と意見交換を行いました。



▲10月11日「議員との意見交換会」



▲11月21日「行政との意見交換会」

市審議会の女性委員比率

本市における各種審議会などの女性委員比率をお知らせします。

うち女性委員数	委員総数	女性比率	年度
150人	595人	25.2%	令和3年度
171人	667人	25.6%	令和4年度
185人	695人	26.6%	令和5年度

(各年4月1日現在…地方自治法第202条の3に基づく審議会など)

市男女共同参画推進ネットワーク

会議では、一緒に活動していただける団体を随時募集しています。お申し込みは、人権課までご連絡ください。



▼申し込み・問い合わせ 人権課 ☎73・3008

地域おこし協力隊 活動レポート vol.4

お問い合わせ 農林水産課 ☎73-3040

毎月第三日曜日に「さぬきマルシェinサンポート」で三豊の農産物や加工品を販売

サンポート高松で毎月開催されている県産品マルシェに、市認定地域産品みとよのみ®の認定品など、三豊の食を集めて出店しています。毎月購入してくれるリピーターさんもいて、三豊ファンが少しずつ増えている実感があります。

1月14日(日)には東京都の有楽町で「瀬戸内みとよマルシェ」を開催!

関東近郊在住者の皆さんに向けて、三豊の魅力が詰まったマルシェを開催しました。特産品の販売や観光PR、移住定住相談、ふるさと納税促進などを実施。私も、当日は現地に行って、販売する生産者さんのサポートを行いました。たくさんの方が三豊産の野菜や果物、加工品などを買い求めてくれました。

今月の担当は 古市 綾美(農畜水産PR)

デザインやウェブ制作の経験を生かして、農林水産物のプロモーションに取り組んでいます!

▲チラシのデザインや作成を行いました

▲「週刊みとよ!ほんまモンブログ」

▲協力隊 Facebook